

# 神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第080号(通算)

令和4年12月2日(金)発行

ついに12月となり、今年も残すところ1ヶ月となりました。「師走」とは旧暦の12月を指す言葉です。具体的には、今の12月末から2月上旬を指しています。「師が走る」という字面から、年末の慌ただしい気分までうまく表しているようですが、この漢字は「当て字」ともいわれ、語源もいろいろあるようです。有名なものは、師走の「師」とは僧侶であるという説。かつては、冬の季節に僧侶を招いて読経などの仏事を行う家が多かったため、お坊さんが東西に忙しく走り回ることから「しがはせる」から「しはす」となったというものだそうです。

## 磨崖仏まつり

令和4年11月13日(日)

3年振りに川辺の岩屋公園で「かわなべ磨崖仏まつり」が開催され、多くの本校生がボランティアとして参加したり、開会式を盛り上げるセレモニーに出演していました。



明け方までの大雨が嘘のように晴れ間が見えてきて、祭りが開催され、書道部の4名が書道パフォーマンスを披露してくれました。力強い文字に会場の皆さんも喜んでいました。



その後の玉入れ合戦でも、進行を手伝うタイムキーパーやコートボールの係や会場内の色々な作業のお手伝いをしていました。



書道部のみなさんは、蒔絵体験も行っていました。



## 11月の全校朝礼 校長講話より

### 伝統を 紬ぐ



これは、来年の夏に行われる『2023かごしま総文』の基本方針の言葉です。

その3つの言葉を基に、川辺高校生として皆さんに体験や感じて欲しいことをこれから述べます。

#### ①「紬ぐ～tsumugu～」

川辺高校は、明治33年の創立以来122年の歴史と伝統を受け継いでいます。そこで過ごす皆さんには、伝統という縦の糸があります。そして、横の糸となる様々な体験を得て、自分独自の紬を織り込んで欲しい。とにかく自ら動き、挑戦することが大切なのです。

#### ②「キバる～kibaru～」

自分の紬を織りなす事は、楽なことばかりじゃありません。とにかくベストを尽くすことです。できなくなるまでずっと。

(by スティーブ・ジョブズ)

過去から学び、未来の自分になるために  
いま自分が何をすべきか向きに合いましょう。

そうすれば 今の努力が辛く

しんどい状況でも 未来に繋がる

と考えられるので、頑張れるはずですよ。

#### ③「輝く～kagayaku～」

そうすればあなたに いい未来がやってきます。

一緒にいい未来に向けて努力しましょう。

私たちがこの地球で過ごせる時間には限りがあります。つまり、命には限りがあります。

大事なことを本当に一生懸命できる機会は、2つか3つぐらいしかない。

(by スティーブ・ジョブズ)

## サイエンス部出前実験

令和4年11月19日(土)

サイエンス部が知覧にあるサポートセンター「る・トレフル」で理科の出前実験を行いました。その時の様子を写真で紹介いたします。



## 黒板アート

令和4年11月20日(日)

この日、旧田代小学校で行われた黒板アート製作の地域イベントに、有志の皆さんが黒板アート講師として参加しました。その時の様子を写真で紹介いたします。

